

103-320

問題文

ロキソプロフェンナトリウム製剤には、医療用医薬品のほか、要指導医薬品及び一般用医薬品がある。要指導医薬品及び一般用医薬品に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 一般用医薬品は、第一類、第二類、第三類及び第四類医薬品に分類される。
2. 薬局製造販売医薬品は、一般用医薬品に該当する。
3. 薬局開設者は、要指導医薬品を、使用しようとする者以外の者に原則として販売してはならない。
4. 薬局開設者は、第一類医薬品を販売した場合、品名、販売日時等を書面に記載しなければならない。
5. 薬局開設者は、薬剤師不在時でも要指導医薬品を販売できる。

解答

問320 : 1, 5問321 : 3, 4

解説

問320

次回来院までのつなぎとして、ロキソニンのような薬局で販売できる一般用医薬品の痛み止めを提案すればよいと考えられます。よって、正解は 1,5 です。

ちなみに、選択肢 2 ですが
ロキソプロフェンは提供できます。本試験時において 第一類医薬品です。

選択肢 3 ですが
処方せんなしの調剤はできません。

選択肢 4 ですが
同成分とはいえ錠剤をテープにするのは適切ではないと考えられます。

問321

選択肢 1 ですが
一般用医薬品は、リスクに応じた 3 区分があります。第一類～第三類です。第四類はありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが
薬局製造販売医薬品は、一般用医薬品ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい記述です。

選択肢 5 ですが
要指導医薬品は、薬剤師から対面で指導を受ける必要があります。従って、不在時には販売できません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。